

市役所屋上は屋根の塗装工事のため、2月7日(日)まで利用できません。ご理解、ご協力をお願いします。☎総務課庶務係・内線2593

中学生の主張・作文が表彰されました

中学生の主張大会

「第35回中学生の主張大会」が11月3日、たましんR.I.S.U.R Uホールで行われました。当日は市内中学生3402人の応募から選ばれた中学生15人が、日常生活において、家族や友人、社会との関わりの中で気付き、考えたことを発表しました。主な入賞者は次の通りです。

▼市長賞 山下紗弥(七中2年)
▼議長賞 今中千尋(三中1年)、

鴻地香花(五中1年)▼教育委員長賞 長塚愛来(二中1年)、小林岳(六中2年)▼特別賞 北原まい(四中3年)、岩城さくら(二中3年)

問子ども育成課青少年係・内線1305

「税についての作文」「税の標語」表彰

次代を担う中学生の皆さんに税への関心と理解を深めてもらうことを目的としています。市立中学校の受賞者は次の通りで

す。《敬称略》

●税についての作文 ▼市長賞

●定森美夏(九中3年)▼教育長

賞 坂本昂平(五中3年)▼立川

都税事務所長賞 内田百合愛

(七中3年)▼全国納税貯蓄組合

連合会会長賞 加藤美柚(三中

3年)▼多摩納税貯蓄組合連合

会優秀賞 大坪茂恵花(九中3

年)▼多摩納税貯蓄組合連合会

入賞 池田桐英(一中3年)、伊

藤桃香(二中3年)、小澤礼芽

(六中3年)、吉野和香菜(八中

3年)

●税の標語 ▼市長賞 中島澁

介(八中1年)▼立川都税事務所

長賞 佐々木来海(三中1年)▼

立川間税会会長賞 濱田大樹

(七中1年)▼入選 木下俊斗

(六中1年)、岩田風澄(一中1

年)

問課税課諸税係・内線1201

全国中学生人権作文コンテスト

中学生の皆さんが人権尊重の大切さを考え、豊かな人権感覚を身につけることを目的に開催される「全国中学生人権作文コンテスト東京大会」で市立中学生が下表の通り入賞し、表彰されました。《敬称略》

問生活安全課市民相談係 ☎528)4319

第35回中学生の主張大会

市長賞

いのちの授業

山下紗弥(七中2年)



戦後七十年の節目を迎えた今年、新聞やテレビでは戦争の悲惨さや残酷さを伝えていました。私の両親はもちろん、祖父母でさえ戦争の記憶を持っていません。私の周りには、戦争体験者がいないため、直接お会いしてお話をうかがう機会はほとんどありません。また、あまりにも悲惨な体験をなさった方は、人に話すことさえ苦痛であるかもしれません。これからも、戦時中の辛さ、大変さを語る生の声は、どんどん貴重になっていくことでしょう。私たちはこのまま、「戦争なんて知らない」で、終わってよいのでしょうか。自分の国で過去に何が起きたのか、学び、二度とくり返さないためにも、考えなければならないと思います。

貴重なお話は、戦争体験だけではありません。私の通う、立川第七中学校は、「東京都教育委員会人権尊重教育推進校」に指定されており、人権問題を考える講演、命の授業が多く行われています。「人権」とは、人が生まれた時から持っている、自由・平等などの権利。と辞書には記されています。私たち七中生は、色々な方々の講演を通して、「人権」について考えています。

昨年六月に講演をしてくださった、犯罪被害者のご遺族の方は、大切な息子さんの命を奪われた辛さ、残された遺族の悲しみを語ってくださいました。ガンと戦い、十数回の手術にたえてこられた方は、自分の命と真剣に向き合っていたらいいなと思いました。ハンセン病の元患者の方は、ご自身とご家族にも及んだ過去の差別と偏見に、苦しんだ日々を語ってくださいました。さらに今年一月、本校に北朝鮮による拉致被害者家族、横田めぐみさんのお両親、横田滋さんと早紀江さんご夫妻がお見えになり、命の授業が行われました。

一九七七年十一月十五日夕方、下校途中に姿を消しためぐみさん。あれから三十八年。北朝鮮による拉致だと認められてからも十八年が過

ぎましたが、未だに、日本に帰って来ていません。ご両親の中のめぐみさんは、「いつきます」と笑顔で出ていった中学一年生のままで止まっています。「大切に、大切に育ててきた娘がいなくなるなんて…」それがどんなに悲しく、辛いことか。顔を見ることができない、声を聞くこともできない。この同じ空の下、すぐ近くの国にいとわかっていのに、連れ戻せない。どんなに会いたくても会えない日々。時間ばかりが過ぎ、十三歳だっためぐみさんは五十歳に、お父さんの滋さんは八十歳を越えていらっしゃいます。めぐみさんが行方不明になってから、これまでに全国で一四〇〇回以上の講演を行ってこられたそうです。お二人とも体力の限界を越えておられ、講演会の後に近くでお話をうかがった時には、思っていたよりも小さくか細い姿に、胸がしめつけられました。最後に、横田さんご夫妻の手を握ってお別れをした時には、拉致事件に対する怒りとともに、一日も早く、このご両親の元にめぐみさんが帰ってこられることを心から願いました。お会いしていなければ湧かなかった感情かもしれません。

講演をしてくださる方々の「命の授業」を聴く度に、今までは知らなかった、人の「苦しみ」・「悲しみ」・「辛さ」に気付かされます。そして、人が生きることの意味を考えるようになりました。私が小さい時に、「人間って何のために生まれてくるの」という質問に母は、「人は、幸せになるために生まれてくるんだよ」と教えてくれました。人は生まれながらにして、幸せになる権利を持っているのです。だから、それを奪う「戦争」や「犯罪」、「差別」を許してはならないのです。「平和」や「人権」、「幸福」それらは、私たちの遠くにある難しいものではありません。自分の近くにいる、家族や友人、周囲の人々、一人一人を大切に作る行動こそが、人権を守る、平和な社会につながるのではないのでしょうか。

氏名	学校学年	受賞
釣部 翔平	八中2年	市長賞・立川地区人権擁護委員会最優秀賞・東京都大会奨励賞
関 万葉	七中3年	立川地区人権擁護委員会優秀賞・東京都大会作文委員会賞
土屋七璃海	七中3年	立川地区人権擁護委員会入選・東京都大会作文委員会賞
小林 優奈	六中3年	立川地区人権擁護委員会入選・多摩西人権擁護委員協議会長賞
田原 美優	八中2年	
栗原 寧央	八中2年	
田澤 萌絵夏	五中2年	
仲 美紗希	七中3年	立川地区人権擁護委員会佳作
神田 愛波	七中3年	
水田 彩花	八中2年	



立川市人権作文表彰式の様子

市議会定例会が閉会

平成27年第4回市議会定例会は、11月30日～12月17日の会期で開かれました。

この議会に市が提出した議案20件は原案通り可決・同意されました。

内訳は▼条例10件▼立川市つきまとい行為、勧誘行為、客待ち行為及びピンクラしらの配布等の防止に関する条例の一部を改正する条例など▼補正予算4件▼平成27年度立川市一般会計補正予算(第5号)など▼契約1件▼建物の譲与についてのほか、規約の変更1件、人事3件、その他1件です。

このほか、議員提出議案3件が可決されました。

問議会事務局・内線3327

副市長・教員委員会委員の選任

第4回市議会定例会において、次の通り副市長・教育委員会委員が選任されました。

●副市長 ▼大霜俊夫氏(65) 再任。任期は12月26日～平成31年12月25日。山梨県大月市在住。昭和48年立川市役所入所。都市建設部参事、総務部長、財務部長、総合政策部長を歴任し、平成19年12月26日から現職。問秘書課・内線2757

●教育委員会委員 ▼松野登氏(67) 新任(任期は平成31年12月24日まで) ▼佐伯雅斗氏(47) 新任(任期は平成30年12月24日まで) 問教育総務課・内線2465

八小の大規模改修事業説明会

平成28年4月から始まる八小の大規模改修事業について、保護者と近隣にお住まいの方を対象とした説明会を開催します。

本事業の概要やスケジュール等についてご説明します。直接会場へ。駐車場はありません。1月15日(金)午後7時～8時30分 八小持上履き

問教育総務課・内線2474